

市民向け  
憲法講演会

# LGBTと人権

予約  
不要

入場  
無料

## — 制服問題から考える —

体と心の性別が一致しないとか、同性を好きになるなどの性的少数者(LGBTなど)は左利きの人と同じくらいの割合でいると言われています。  
でも、これまで、笑いの対象としたり、特異な存在として扱うなど、性的少数者を傷つけることが平然と行われてきました。  
私たちは、知らず知らずのうちに性的少数者を追い詰めてはいないでしょうか。  
当会では、制服問題を切り口として性的少数者に関して知っていただき、その人権を考えるシンポジウムを開催することとしました。  
誰もが生きやすい多様性のある社会を実現するため、私たちにできることを考える機会になればと思います。

日時

2020 **2/8** (土)

**13:30** 開場

**14:00** 講演開始

**17:00** 終了予定

会場

**佐賀県弁護士会館**

(佐賀市中の小路7番19号)

※駐車場に限りがありますので

近隣の有料駐車場をご利用ください。

パネリスト

**健崎まひろ氏**

(佐賀大学LGBT支援サークルCARASS代表)

**吉岡剛彦氏**

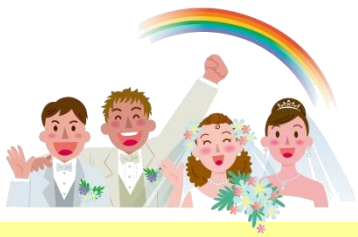
(佐賀大学教育学部教授・性的少数者の人権を研究)

**後藤富和氏**

(弁護士・福岡県で制服の改善運動に携わる)

主催：佐賀県弁護士会（佐賀市中の小路 7-19） ☎0952 - 24 - 3411 <http://www.sagaben.or.jp/>

共催：日本弁護士連合会（予定）、九州弁護士会連合会（予定）



# もっと知ろう、LGBT について！



## 「LGBT」とは？

LGBTとは、レスビアン(L)、ゲイ(G)、バイセクシュアル(B)、トランスジェンダー(T)の頭文字をまとめたもので、性的少数者の総称の1つとして使われています。

LGBTの他にも、区分に当てはまらない性的指向や性自認の方々もいます。性的指向や性自認は、個人の趣味や一過性のもではなく、本人の意思で変えられるものではありません。

性の多様性を認め合い、その人らしさを大切にすることが、個人の尊厳の尊重につながります。

- レスビアン  
L (Lesbian) …自分を女性として自認していて女性が好きな人
- ゲイ  
G (Gay) …自分を男性として自認していて男性が好きな人
- バイセクシュアル  
B (Bisexual) …同性も異性も恋愛対象になる人
- トランスジェンダー  
T (Transgender) …体の性と心の性の不一致があり、心の性にしがって暮らしていきたいと思う人

性的少数者は、日本の人口の約8%いると言われています。

## 象徴としてのレインボーフラッグ(虹の旗)



LGBTの尊厳とLGBTの社会運動を象徴する旗。フラッグに使われた色はLGBTコミュニティの多様性を表し、LGBTの権利パレードなどで掲げられたりしています。



## LGBTの方々がおかれている現状

周囲の方々の偏見、差別、無関心のために、性的少数者の中には、こんなことで困ったり、苦しんだりしている方がいます。

- ・いじめられたり、からかわれたりする。
- ・修学旅行のときに、同級生と一緒に風呂に入れない。
- ・心の性と異なる性別の制服を着ることが苦しい。
- ・自分の性に関する相談をする人が周りにいなくて不安。
- ・同性愛者であることを隠すため、我慢して異性と結婚して子どもをつくる。
- ・パートナーが入院しても、家族として扱ってもらえない。

## 多様性を認め合うために、私たちにできること

- 性が多様であることを知りましょう。
- 「ホモ」「レス」など、笑いやからかいの言葉を使わない。あなたの周りで人知れず傷付いている方がいるかもしれません。
- 男性らしさ、女性らしさの強要をしない。その人らしさが一番！
- カミングアウトや相談を受けたら、「言ってくれてありがとう」の言葉を。そして、本人の気持ちをまずは受け止め、どうして欲しいか聞きましょう。大変な勇気がいったかもしれませんが、カミングアウトや相談はあなたを信頼してのこと。本人の了承なく他の人に伝えないようにしましょう。
- どうしていいかわからない時は行政や民間団体の専門家に相談。ただ、本人の了承は取りましょう。